

# 令和6年度 佐久市森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

## 1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり（佐久市森林経営管理制度実施方針）

## 2 森林環境譲与税導入の効果

- ・意向調査の結果を基に、森林施業実施場所の境界の確認及び森林資源を把握することができました。
- ・林地台帳システムの更新により業務の効率化と精度の向上を図ることができた。
- ・防災・減災を目的とした災害に強い林道づくりを行いました。

## 3 森林環境譲与税の活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和[5]年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	178,011	59,404	237,415		
譲与額（円）	178,011	59,404	237,415	100%	基金運用等に活用

## 4 令和6年度 森林環境譲与税を活用した事業一覧

### （1）森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
①森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等）	森林経営管理制度測量調査事業	10,944	10,944	0	意向調査実施場所において集積計画を作成するため、境界確定作業及び森林資源の調査を実施するための調査委託費、森林所有者への資料印刷費及び郵送料、測量機器購入費等	意向調査実施面積：51.51ha 境界明確化実施面積：21.04ha	意向調査の結果を基に調査委託することで森林施業実施場所の境界の把握及び森林資源を把握することができた。
小計		10,944	10,944	0	0		

### （2）その他事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
①森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等）	次世代林地台帳システム更新事業	1,392	1,392	0	森林整備の基礎データとなる林地台帳システムを最新世代へ更新する。	林地台帳システムの更新：一式	林地台帳システムの更新することで、常に最新の森林情報を利用できるようになり、古いデータに基づく誤った判断や、それに伴う再調査・修正といった手戻り作業がなくなり、業務の効率化と精度の向上を図ることができた。
⑥林道・林業専用道の整備・維持修繕	災害に強い林道づくり事業	26,593	26,404	0	災害に強い林道にするための林道維持修繕、改修に伴う委託費や工事費、資材費等	土砂撤去34.2km 擁壁改修16.0m 倒木撤去23か所 路面整正600m	森林整備や有害鳥獣駆除の際に使用している林道や基幹林道について、通行を確保するための土砂・倒木撤去や路面の復旧及び水路清掃や横断側溝整備等を実施することで、災害に強い林道づくりを行うことができた。
⑪ 基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金積立	20,642	20,642	0	翌年度以降に実施予定の森林整備（森林経営管理制度事業）に充当するための積立		
小計		48,627	48,438	0	189		

合計		59,571	59,382	0	189		
----	--	--------	--------	---	-----	--	--

## 令和6年度 佐久市森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

### 5 今後の実施計画

1 森林経営管理制度に基づく新たな森林施業実施場所の意向調査、境界確認、資源調査の実施	2 継続的な災害に強い林道・林道専用道の整備・維持管理の実施
---	--------------------------------

事業区分表	
① 森林所有者の意向調査の準備作業（森林の現況把握、境界の確認・明確化等） ② 森林所有者の意向調査 ③ 私有林整備 ④ 公有林整備（財産区有林含む） ⑤ 森林保護対策 ⑥ 林道・林業専用道の整備・維持修繕 ⑦ その他（間伐等の森林整備） ⑧ 担い手の確保に向けた取り組み ⑨ 林業就業者の育成（労働安全対策や林業機械の導入含む） ⑩ 専門員の雇用	⑪ 新たな組織の設立 ⑫ その他（人材育成・担い手の確保） ⑬ 木造公共建築物等の整備・内装木質化 ⑭ 地域における木質バイオマス利用推進 ⑮ 森林・林業の意義や木材利用促進に関する普及活動等 ⑯ その他（木材利用・普及啓発関係） ⑰ 基金積立（森林整備等） ⑱ 基金積立（人材育成等） ⑲ 基金積立（木材利用等） ⑳ 基金積立（執行残額等）